

直方市議会議員 やすなが浩之

平成30年度直方市予算を議決

施政方針の概要

1、財政硬直化の緩和：各所管課において、事業の検証と見直しを徹底し、できる限りの歳出抑制を行った。全職員が財政に対する問題意識をもち、財政硬直化の緩和への取り組みを行う。

2、産業・農業の支援強化：直鞍ビジネス支援センターを活用し、より積極的な相談事業を展開していく。民間の企業経営を市政運営に活かす、民間企業との連携による事業展開を推進する。さらに、営農者の減少や集約化、営農の継続性や農家の利益の最大化という課題に取り組む。

3、福祉施策の一層の推進：障がい者差別解消条例を本年6月に条例提案予定。障がい者の雇用についても、直方市が率先して行う。また、更生保護事業を推進していく。子ども達への支援については、公園等の環境整備を進め、小中学校における特別支援を強化する。

4、教育環境の整備：全中学校に空調設備を完備し、小中学校のトイレ環境の改善を行う。また、中学校給食の喫食率向上に取り組む、部活動の外部指導者派遣による教育現場の職場環境改善にも取り組む。

5、文化施策の一層の推進：寄贈を受けた「筑豊文庫」の資料を本年度中に市立図書館において順次公開する。直方・田川・飯塚に点在している石炭関連遺産を一括して国史跡として指定いただく働きかけを強める。また、伝統的芸能への補助金を新設し、支援を強化する。

6、観光振興の推進：直方市観光物産振興協会の運営に、市が積極的に関与する。テューリップフェアのさらなる充実を図り、魁皇杯なども相撲大会を開催する。さらに、遠賀川河川敷における自転車道の開通を間近に控え、自転車や河川敷を活用した地域活性化に取り組む。

7、複合施設の建設：保健福祉センターをはじめとして、老朽化の激しい他の公共施設を集約させた複合施設の建設に向けた取り組みを始める。

8、人材の育成の推進と充実：これまで行ってきた市職員の中央省庁や衆議院法制局等への派遣を継続し、より幅広い分野への派遣によって人材育成を推進する。

一般質問



【自転車活用推進】

平成29年5月に「自転車活用推進法」が施行され、「直方北九州自転車道」の整備が進む中、自転車活用推進に関して、市の考えを伺いました。

商工観光課で観光視点的取り組みがなされており、都市計画課では「直方自転車ネットワーク計画」を策定中、県と市の職員で構成される「直方北九州自転車道整備連絡会議」への参加など、前向きな方策が行われている答弁内容でしたが、市長答弁では、直方市として取り組むのではなく、あくまで近隣自治体との連携に留まるという内容に収束しました。

【中学校給食】

昨年9月より開始している中学校完全給食の現状と今後の取り組みに関して、質問を行いました。

4割前半の喫食率が続いており、当初予定の6割には達していない現状であるが、温かく提供する方法でおいしく給食を食べてもらう取り組みや給食メニュー等の給食のお知らせを定期的に行うことと喫食率の向上に取り組む旨の答弁がありました。多数の方々から要望頂き、長年の検討の末にようやく実現した給食を、より多くの生徒に利用頂けるよう、継続努力を要望しました。

【福祉施策】

総合事業に関して、市の方針を伺いました。短期集中型のリハビリサービスに先進自治体の例を収集し取り組みことや、介護予防強化のためのDVDを作成し地域の自主活動団体に配布するなどの方針が示されました。

なお、訪問介護・通所介護のサービスAに関しては、6月頃を目途に事業者説明会を開催して意見聴取の上で内容決定し、10月からのサービス開始を予定する旨の答弁がありました。



直方市政へのご意見ご要望、お待ちしております。

《議員事務所》

〒822-0022 直方市知古1丁目6番1号

Tel.0949-28-8087 fax.0949-28-8020

※議会終了後、皆様への報告を目的に発行しています。